

協賛金のお願ひ

長野オリンピック以来、長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟はそり競技（ボブスレー・リュージュ・スケルトン）の普及・発展をめざし、アジア唯一の人工凍結トラックである「スパイラル」を拠点とし、取り組んでいます。そりは、冬期における長野の子どもたちの伝統的な遊びであり、そこから発展したスポーツを普及させることが、当連盟の大きな責務と感じております。

具体的な取り組みとしましては、下記の2点を重点に活動をしています。

- 1 そり競技の新人発掘
- 2 若手選手の強化育成

そり競技の楽しさを多くの人に知ってもらい、若手選手を確保するためには、実際に氷上コースを滑走する体験の機会を増やすことが大切だと考えます。また、そり競技はスピード感にあふれ、豪快なスポーツではある反面、そりをコントロールするための繊細な技能が必要です。この技能を身につけるためには、どうしても滑走練習をこなさなければなりません。

しかしながら、これらの活動を継続していくための資金が不足しており、十分な成果を上げることが困難という状況です。

連盟としましては、将来オリンピックで入賞できるような選手を輩出したいという目標を持って、精一杯努力していく所存です。どうか、当連盟の現状をご賢察いただき、貴社の格別なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

会 長 小 坂 憲 次